地理学特殊講義1B－Ⅰ

科目ナンバリング　GGR-201
選択必修　　2単位

吉野　　裕

1. 授業の概要（ねらい）

人間は動植物・昆虫を採取・狩猟・愛玩・鑑賞・信仰の対象とするなどして、これらと様々な関係性を築いてきました。これらの存在は、我々人間の生活にとって不可欠なものになっています。この講義では「動物地理学」・「文化地理学」のふたつの視点から、特定の生物の分布範囲が確定される理由を解説するとともに、動植物・昆虫と人間との間にみられる様々な関係性をテーマとした研究を多数紹介していきます。その際には、これらの研究がどのような調査・分析方法を採用しているかについても説明を行います。

2. 授業の到達目標

①生物の分布範囲が確定される理由を理解し、これについて具体的な事例を挙げて説明できる。
②人間と動植物・昆虫との間にみられる様々な関係性について、専門用語を用いて地理学的な視点から説明できる

3. 成績評価の方法および基準

試験の結果（70%）と受講態度（30%）をもとに、総合的に評価を行います。
・試験による成績評価の基準：生物の分布範囲が確定される理由、ならびに人間と動植物・昆虫との間にみられる様々な関係性について、専門用語を用いて地理学的な視点から説明できているかを基準に成績を評価します。
・受講態度による成績評価の基準：毎回、講義時にリアクションペーパーを配布します。その記載内容に応じて、受講態度を評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書
特に指定しません
参考文献
池谷和信編　『生き物文化の地理学』　青海社

5. 準備学修の内容

・事前に、授業内容に関する書籍を図書館で探して読み、知識を獲得してください。
・授業で取りあげた専門用語の意味を地理学とその隣接分野の事典で調べ、ノートにまとめてください。

6. その他履修上の注意事項

・第1回目の授業はオンラインで実施する予定です。これに関する重要な連絡をLMS（地理学特殊講義Ⅰ）に掲載する場合があります。LMSをきちんと確認して下さい。
・毎回、リアクションペーパーを配布します。これに質問・意見・要望などを自由に書いて提出してください。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス、受講上の諸注意【オンライン】
【第2回】　動物地理学と文化地理学の位置づけ
【第3回】　動物の分布はどのように決まるのか?
【第4回】　野生動物による被害①江戸時代の被害と対策
【第5回】　野生動物による被害②平成期の被害の概要
【第6回】　野生動物による被害③地域社会が直面する課題
【第7回】　生活を豊かにする動物①家畜としての動物
【第8回】　生活を豊かにする動物②富をうみだす動物
【第9回】　生活を豊かにする動物③ペットとしての動物
【第10回】　生活を豊かにする動物④人脈の構築を促す動物
【第11回】　植物・昆虫と地域文化①クリと和菓子
【第12回】　植物・昆虫と地域文化②キノコと東北地方の食文化
【第13回】　植物・昆虫と地域文化③ハチの捕獲と食品加工
【第14回】　動植物・昆虫に対する信仰
【第15回】　総括・試験